

県西地区地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会合同会議 資料（抜粋）

令和元年度の取組結果及び令和 2 年度計画（地域包括ケア・在宅医療推進関係）

1 令和元年度の実施事業について

(1) 県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議の開催

県西地区 2 市 8 町の行政担当者間の顔の見える関係の構築、情報共有・連携を目的として標記会議を開催した。

○第 1 回 令和元年 7 月 9 日（火）

- 内 容
・平成 30 年度合同会議の結果概要
・令和元年度の取組について

○第 2 回 令和 2 年 2 月 27 日（木）書面会議

- 内 容
・令和元年度の活動報告
・令和 2 年度の取組について

(2) 研修、講演会の開催

市町単独での取組が困難な分野での研修や、地域包括ケアシステムの構築にあたって欠かせない地域住民の自助・互助への普及啓発を継続的に進めるための講演会等を開催。

○令和元年 12 月 17 日（火）県小田原合同庁舎 <講演会>

- 講演 演題「いつまでも自分らしくこの地域で暮らしていくには～自立支援と介護予防を通じた支え合いのまちづくり～」

講師 神奈川県介護支援専門員協会 副理事長 松川 竜也（まつかわ たつや）氏

○令和元年 12 月 6 日（金）県足柄上合同庁舎 <研修>

- 講演 演題「アンガーマネジメント～怒りと上手につきあう～」

講師 社会福祉法人 みづき福祉会理事長

一般社団法人日本アンガーマネージメント協会 阿部 美樹雄（あべ みきお）氏

2 県西地区地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会合同会議

個々の市町では解決が困難な課題への対応や、広域的に取り組むことが効果的な事業の検討、意見交換等を行い、県西地域の地域包括ケアシステムの推進に資すること目的に開催。

○令和 2 年 3 月 25 日（水）書面会議開催予定

- 内 容
・令和元年度の活動報告
・令和 2 年度の取組について

3 令和2年度の取組（案）

1 情報の共有

- * 行政担当者会議の開催
- ～2市8町の顔の見える関係づくりと情報共有
- (イ) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

2 研修、普及・啓発

- * 市町単独での取組が困難な分野に特化し開催
- ～地域における医療と介護のあり方に関する講演、広域性・専門性が必要な分野に関する研修等
- <テーマの例>
 - 地域医療構想と地域包括ケア
 - 口腔ケアや栄養・食生活対策
 - (市町からの要望に応じて決定)
- (イ) 地域住民への普及啓発
- (ア) 医療・介護関係者の研修

3 県西地区地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会合同会議の開催

時期 2021年2～3月 予定

《地域包括ケアシステムに関する保健福祉事務所の事業等》

- ・ 地域福祉関連事業（みんなのバリアフリー街づくり条例に基づく取組み等）
- ・ 歯科保健事業（地域口腔ケア連携の推進、歯と口腔の健康保持増進の取組等）
- ・ 栄養・食生活対策事業（関係機関と連携した介護予防のための低栄養対策等）
- ・ 介護保険指定事業者指導（介護保険法に基づくサービスの質確保のための指導等）
- ・ 難病対策事業（難病患者への支援体制整備のための協議会開催等）
- ・ 精神保健福祉事業（地域精神保健福祉対策を推進するための協議会開催等）
- ・ 認知症対策保健所事業（若年性認知症等の普及啓発、若年性認知症家族会等）

＜様式1＞ 塗西地区各市町における地域包括ケアシステムの段組(R元年度実績とR2年度計画)
～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

R2年度計画		R元年度実績	市町(小田原市) 担当課(小川 真)
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	R2年度計画	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握		
・既存の市民ガイド、介護サービス事業所情報、小田原市地域情報システムユビ・オダリNavil-0にて資源の把握している。 ・平成29年度に販促した「インフォーマルサークル」について生活支援体制整備事業のコーディネーターが地域に入って指導活動を支援している。	・令和元年12月末現在、16回開催し、58名例の検討を行った。会議から抽出された地域課題としては、「医療と介護連携の推進」「ケアマネジメントのケアマネジメントの質の向上」「市民への自立(介護予防・重度化防止)」に向けた高齢者施設」「介護サービス充実後の医療所づくり」等が挙げられている。		
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討		イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
・平成30年度7月から自立支援ケア会議を開催、医療機関・医師・看護師・薬剤師・理学療法士・看護支援者(アドバイザーとなり、要支援者のアパート等を多様種の拠点から検討する。	・令和元年12月末現在、「医療と介護連携の推進」「ケアマネジメントのケアマネジメントの質の向上」「市民への自立(介護予防・重度化防止)」に向けた高齢者施設」「介護サービス充実後の医療所づくり」等が挙げられている。		
ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進		ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進
・多職種共同会議(年3回)、介護受託者医療連携研修(年2回)により、切れ目のないサービス提供の必要性について、専門性を保めている。	・令和元年度は、「その人のなりの自己支障を目標とするケースカンファレンスなどは」を年間のテーマとして1回目「その人のなりの自己支障を目標ための、サービス担当者が会議のあり方について」、2回目「その人のなりの自己支障を目標ための、退院前カンファレンスのあり方について」とし、小田原医師会と相模町・真鶴町・湯河原町との共催で開催した。		
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援		エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
・在宅医療・介護連携の推進のため、地元包括支援センターから担当団体の介護サービス事業所による情報収集と連絡を、専門性を保めていく必要があるため、平成30年度から関係団体(医師会・歯科医師会・看護師会・介護支援専門員の住民団体・行政)で情報共有ツールを作成検討会を立ち上げ、連携している。	・連携ツールについてR2年4月1日から活用するため、R2年3月17日に介護支援専門員向けに説明会を開催予定。		・連携ツールについてR2年4月1日から活用するため、R2年3月17日に介護支援専門員向けに説明会を開催予定。
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援		オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
・小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療の相談窓口」の機能を位置付け、介護関係者からの問い合わせに対する相談・情報提供体制を整備し、年2回「在宅相談窓口の打合せ会」を開催している。	・「在宅相談窓口の打合せ会」を年2回(5月、11月)開催している。		
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修		カ 医療・介護関係者の研修
・小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療の相談窓口」の機能を位置付け、介護関係者からの問い合わせに対する相談・情報提供体制を整備し、年2回「在宅相談窓口の打合せ会」を開催している。 ・また、小田原歯科医師会が実施している医療・介護関係者等に対するの講演会及び健康運動指導士からも講義等を行う在宅医療・介護連携の推進を図っている。	・「在宅相談窓口の打合せ会」を年2回(5月、11月)開催している。		
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発		キ 地域住民への普及啓発
・多職種共同会議(年3回)、小田原医師会と下郡3町と連携して、専門的知識を多様化で保めていくための研修を実施している。	・R1.10月に、医師及び介護士から「終活」についての講演会及び健康運動指導士からゴルフの講演会を開催する。		・R1.10月に、医師及び介護士から「終活」についての講演会及び健康運動指導士からゴルフの講演会を開催する。
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携		ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携
・県西地区地区連携会議、県西地区在宅医療連携推進会、県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議	・担当者会議は2回実施。		・担当者会議は2回実施。
認知症施策の推進	認知症施策の推進		認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況		①住民活動の状況
・認知症サポーターが認知症カフェの手伝いをする。	・認知症カフェ1か所の手伝いをした。		・認知症カフェ1か所から2か所へ拡大させること。
②介護予防の取組	②介護予防の取組		②介護予防の取組
なし	なし		なし
③その他	③その他		③その他
・認知症初期集中支援事業チーム員会議の会議を作成した。 ・医療機関との連絡調整を作成する。	・認知症初期集中支援事業チーム員会議の会議を作成した。 ・医療機関との連絡調整を作成した。		

＜様式1＞ 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組（R元年度実績とR2年度計画）
～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施設の推進」について～

市町(南足柄市) 担当課(高齢介護課)	
R元年度計画	R2年度計画
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
新規開業、開院等の事業所の確認をしてIP上に訂正する。	新規開業、開院等の事業所の確認をしてIP上に訂正する。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地場ケーブル会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地場ケーブル会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加 PICAサミットに添った政策が出来るよう市町村と協議するため研修会を開催する。
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
県立足柄上病院地城連携会議会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護、グループホーム、入所施設、訪問看護ステーションなど業種別の勉強会や情報交換の開催 ワークショップでの実演会への参加	県立足柄上病院地城連携会議会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護、グループホーム5回、 訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催 入所施設3回、訪問看護ステーションが見えた会として自主性を高める
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしぶらケアマネジヤー連絡会役員会 研修会 ホームページの活用	あしぶらケアマネジヤー連絡会役員会3回、懇親会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け検討セミナー（株）ジョウソウ ホームページの活用
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地城連携会や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	県立足柄上病院地城連携会や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
11月23日 足柄上地区地域包括ケアシステム～これからどうする～辻哲夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園千恵子氏 1月15日 接遇 利用者と信頼関係を築くホスピタリティ 峯谷英津子氏	年2回定期 地域住民が見えて継続的につながる相談会 11月23日 新しい在宅医療の方向性 新田園千恵子氏 1月15日 接遇 利用者と信頼関係を築くホスピタリティ 峯谷英津子氏
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
11月4日食べられないからどうしますか 会田薰子氏 2月8日「上野千鶴子さん」が語るおうちでひとりで死ねますか 上野千鶴子氏	年2回定期 11月4日「食べられないからどうしますか 会田薰子氏 2月8日「上野千鶴子さん」が語るおうちでひとりで死ねますか 上野千鶴子氏
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携
11市5町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席 認知症施設の推進	11市5町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席 認知症施設の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況
オレンジパートナーが認知症地域支援プロジェクト活動を行なう。 講演会開催等にむけ各グループ活動を行う。	オレンジパートナーが認知症地域支援プロジェクト活動を行なう。 リーゼンジニア等にむけ各グループ活動を行なう。
②介護予防の取組	②介護予防の取組
運動・栄養・口腔講座を複合した認知症予防教室の開催。 介護予防サポート隊によるコグニサイズ中心の介護予防体操教室を開催した。	多くのを活用した認知症予防教室の開催。 介護予防サポート隊の活動は令和元年度と同様に継続。介護予防サポート隊を予定している。
③その他	③その他

様式1> 塗西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績とR2年度計画)
~包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について~

市町(松田町) 担当課(福祉課)		R2年度計画	R元年度実績
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
新規開業、閉鎖等の事業所の確認をしてHP上に訂正する。		新規開業、閉鎖等の事業所の確認をしてHP上に訂正する。	
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
小田原保健福祉事務所民両上セントナーも交えて市町担当者会議6回 1市町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所民両上セントナーも交えて市町担当者会議6回 1市町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所民両上セントナーも交えて1市町担当者会議6回 1市町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所民両上セントナーも交えて1市町担当者会議6回 1市町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
県立足柄上病院地域連絡会連絡会12回 防府介護事業所・小規模多機能型居宅介護回、グループホーム5回、訪問看護ステーション回など業務別の勉強会や情報交換の開催 チーフィングなど業務別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連絡会連絡会12回 防府介護事業所・小規模多機能型居宅介護回、グループホーム5回、訪問看護ステーション回など業務別の勉強会や情報交換の開催 入所施設3回、訪問看護ステーション回など業務別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連絡会連絡会12回 防府介護事業所・小規模多機能型居宅介護回、グループホーム5回、訪問看護ステーション回など業務別の勉強会や情報交換の開催 令和元年度同様業務別での集まりを目的とした会にして自主性を高める	県立足柄上病院地域連絡会連絡会12回 防府介護事業所・小規模多機能型居宅介護回、グループホーム5回、訪問看護ステーション回など業務別の勉強会や情報交換の開催 令和元年度同様業務別での集まりを目的とした会にして自主性を高める
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしがらケアマネジメントセンター連絡会役員会 研修会 ホームページの活用	あしがらケアマネジメントセンター連絡会役員会3回 現状分析付けて処分セミナー(株) ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジメントセンター連絡会役員会3回 現状分析付けて処分セミナー(株) ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジメントセンター連絡会への支援 CMAの理解を深め CM同士の研修を積み、情報交換や懇親会など ホームページの活用
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地政住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連絡会や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地政住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連絡会や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地政住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連絡会や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地政住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連絡会や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
7月23日 足柄上病院の地域包括ケアシステム～これからどうする～注音夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田國夫氏 1月15日 接遇 利用者と信頼関係を築くスピリティ 島谷英輔子氏			
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
11月4日食べべからくなったらどうしますか 会田薰子氏 2月8日 上野千鶴子さんが語るおうちでひとりで死なれますか 上野千鶴子氏			
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携
1市5町の担当者会議に出席 県西地区の会議に出席	1市5町の担当者会議に出席 県西地区の会議に出席	1市5町の担当者会議に出席 県西地区の会議に出席	1市5町の担当者会議に出席 県西地区の会議に出席
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
・認知症サポーター養成講座第一回講師サボーテーの任意団体がコグニシサイズの実践指導を行なう。受講者へ町民有志が作成した手作りロバのストラップを配布。有志紙芝居を作成し、講座で活用。 ・認知症カフェボランティアが発足(H31.4) カフェ・夏休みごどものつどい・家族のつどい協働開催。アルツハイマー月間イベント開催。町内散歩を企画運営。	・認知症サボーター養成講座第一回講師サボーテーの任意団体がコグニシサイズの実践指導を行なう。受講者へ町民有志が作成した手作りロバのストラップを配布。有志紙芝居を作成し、講座で活用。 ・認知症カフェボランティアが発足(H31.4) カフェ・夏休みごどものつどい・家族のつどい協働開催。アルツハイマー月間イベント開催。町内散歩を企画運営。	・認知症サボーター養成講座第一回講師サボーテーの任意団体がコグニシサイズの実践指導を行なう。受講者へ町民有志が作成した手作りロバのストラップを配布。有志紙芝居を作成し、講座で活用。 ・認知症カフェボランティアが発足(H31.4) カフェ・夏休みごどものつどい・家族のつどい協働開催。アルツハイマー月間イベント開催。町内散歩を企画運営。	・認知症サボーター養成講座第一回講師サボーテーの任意団体がコグニシサイズの実践指導を行なう。受講者へ町民有志が作成した手作りロバのストラップを配布。有志紙芝居を作成し、講座で活用。 ・認知症カフェボランティアが発足(H31.4) カフェ・夏休みごどものつどい・家族のつどい協働開催。アルツハイマー月間イベント開催。町内散歩を企画運営。
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
・認知機能低下予防教室(コグニシサイズ) 3か月間全12回開催 ・上記教室終了後、自主グループへ移行。町内3箇所で実施、後方支援。	・認知機能低下予防教室(コグニシサイズ) 3か月間全12回開催 ・上記教室終了後、自主グループへ移行。町内3箇所で実施、後方支援。	・認知機能低下予防教室(コグニシサイズ) 3か月間全12回開催 ・上記教室終了後、自主グループへ移行。町内3箇所で実施、後方支援。	・初回集中支援チーム員活動、サポート医同行訪問(月1回) 実施。
③その他	③その他	③その他	織維実施

＜様式1＞ 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績とR2年度計画)～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

R元年度計画		R元年度実績		R2年度計画	
在宅医療・介護連携の推進		在宅医療・介護連携の推進		在宅医療・介護連携の推進	
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	新規開業、閉鎖等の事業所の確認をして即座に訂正する。	新規開業、閉鎖等の事業所の確認をして即座に訂正する。
イ 在宅医療・介護連携の要題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の要題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の要題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の要題の抽出と対応策の検討	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地盤包括支援センター連絡会への参加 足柄上地区地盤包括支援センター連絡会への参加 仙郷閣で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地盤包括支援センター連絡会への参加 仙郷閣で開催する研修会への参加 PICAサイクルによる研究会への参加
ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進	県立足柄上病院地域連携室連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム5回、 入所施設3回、訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催 令和元年度同様業種別の集まりで各自の目標を持った会にして自主性を高める	県立足柄上病院地域連携室連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム5回、 入所施設3回、訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催 令和元年度同様業種別の集まりで各自の目標を持った会にして自主性を高める
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	あしがらケアマネジャー連絡会3回、懇親会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け処分セミナー（株）ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連絡会への支援 CMA対象へ疾患の理解を深める CMAの研修を積み、情報交換や懇親会など ホームページの活用
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。10件	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステム～これからどうする～辻哲夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田國夫氏 11月15日 損害利用者との信頼関係を強くスピリティ 無谷英津子氏	年2回程度 懇親会をカッショングができるグーブリーカフェなど キ 地域住民への普及啓発
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	11月4日食べべからくなつたらどうしますか 会田薰子氏 2月8日「上野千鶴子さんが語るおうちでひとりで死ぬますか 上野千鶴子氏	年2回程度 5月23日（土）映画上映と監督講演「ぼけますからよろしくお願いいたします」
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	1市5町の担当者会議の開催 県西地区的会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 県西地区的会議に出席
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	①住民活動の状況 ②介護予防の取組	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	・認知症ボランティアの活動…認知症カワエーとして活動 ・地域で活動しているボランティアを対象とした認知症サポート講座の実施 ・軽症骨折予防体操指導員（1回） 町社協の生活支援サービス担い手（1回）	・認知症予防運動教室「競けよう！コグニサイズ」の開催（月1回） ・認知症予防運動教室「競けよう！コグニサイズ」の継続開催（月1回）
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	・認知症予防運動教室「競けよう！コグニサイズ」の設定（月1回） ・コグニサイズ練習日の設定（月1回）	・認知症予防運動教室「競けよう！コグニサイズ」の継続開催（月1回） ・新規参加者の募集、コグニサイズの活用
③その他	③その他	③その他	③その他		

＜様式1＞ 塩西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組（R元年度実績とR2年度計画）
～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

市町（ 大井町 ） 担当課（ 介護福祉課 ）	R元年度実績	R2年度計画
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療サービス資源の把握	ア 地域の医療サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
新規開業、開院等の事業所の確認をしてIP上に訂正する。	新規開業、開院等の事業所の確認をしてIP上に訂正する。	新規開業、閉院等の事業所の確認をしてIP上に訂正する。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
小田原保健福祉部新足柄上七ヶ原一モーも交えて市町担当者会議6回 市町の地場グッズ会議等への出席 足柄上地区地域包括センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉部新足柄上七ヶ原一モーも交えて市町担当者会議6回 市町の地場グッズ会議等への出席 足柄上地区地域包括センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉部新足柄上七ヶ原一モーも交えて市町担当者会議6回 市町の地場グッズ会議等への出席 足柄上地区地域包括センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加
ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進
県立足柄上郡厚生農業協同組合連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム5回 入所施設3回、訪問看護ステーション1回など業務別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上郡厚生農業協同組合連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム5回 入所施設3回、訪問看護ステーション1回など業務別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上郡厚生農業協同組合連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム5回 入所施設3回、訪問看護ステーション1回など業務別の勉強会や情報交換の開催
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしがらケアマネジャー連絡会員会3回、懇親会 10月23日生整理・商品整理の現状片付け検分センター（株）ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連絡会員会3回、懇親会 10月23日生整理・商品整理の現状片付け検分センター（株）ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連絡会への支援 OJT対象へ疾患の理解を深め、情報交換や懇親会など ホームページの活用
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上郡厚生農業協同組合連絡室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。10件	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上郡厚生農業協同組合連絡室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。10件	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上郡厚生農業協同組合連絡室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
7月23日 足柄上地区の地域包括ケアシステム～これからどうする～　辻町夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性　新田園夫氏	7月23日 足柄上地区の地域包括ケアシステム～これからどうする～辻町夫氏 11月15日 接遇 病用者と信頼関係を築くくスピーディ 鮎谷英津子氏	7月23日(土) 映画上映と監督講演「ぼけますからよろしくお願ひいたします」 11月15日 接遇 病用者と信頼関係を築くくスピーディ 鮎谷英津子氏
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
11月4日 街歩かなくならどうしようか　会田薰子氏 12月8日 上野千鶴子さんが街歩おうちでひとりで歩きますか　上野千鶴子氏	11月4日 街歩かなくならどうしようか　会田薰子氏 12月8日 上野千鶴子さんが街歩おうちでひとりで歩きますか　上野千鶴子氏	11月4日 街歩かなくならどうしようか　会田薰子氏 12月8日 上野千鶴子さんが街歩おうちでひとりで歩きますか　上野千鶴子氏
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
1市町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席	1市町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席	1市町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
・県立グニニギ研修受講者が主体の集まりが月2回（「おはい McDon'レ会」）開催されていています。 ・「おはい McDon'レ会」（コグニニサイド）が月1回開催。 ・「うたごえ」（歌で介護予防を目指す町民主体のグループ）が月1回開催。 ・「うたごえ」（歌で介護予防を目指す町民主体のグループ）が月1回開催。 ・認知症カフェを認知症サポート（住民）主体で月1回開催。	・町主導の自主グループの活動を後方支援、認知症の方も受け入れてもらおう。 ・「おはい McDon'レ会」（コグニニサイド）が月1回開催。 ・「うたごえ」（歌で介護予防）が月1回開催。 ・「うたごえ」（歌で介護予防）が月1回開催。 ・認知症サポート（住民）主体で月1回開催。	町主導の自主グループの活動を後方支援、認知症の方も受け入れてもらおう。 ・「おはい McDon'レ会」（コグニニサイド）が月1回開催。 ・「うたごえ」（歌で介護予防）が月1回開催。 ・「うたごえ」（歌で介護予防）が月1回開催。 ・認知症サポート（住民）主体で月1回開催。
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
・町一駅介護予防事業を町内12会場で実施。現在、育成したボランティアで企画運営を実施している。平成31年度は町内13会場で実施予定。	・町一駅介護予防事業を町内12会場で実施。現在、育成したボランティアで企画運営を実施している。平成31年度は町内13会場で実施予定。	・町一駅介護予防事業を町内12会場で実施。現在、育成したボランティアで企画運営を実施している。平成31年度は町内13会場で実施予定。
③その他	③その他	③その他
・チーム員研修は元年度までに直営包括施設（保育園・社会福祉士）名を受け持つ。平成22年より町内医師にサポート（医師・看護師）を直営し初年度中支障チームを設立。認知症医療センターが開設され、令和元年度実績2件。令和元年度実績2件。	・チーム員研修は元年度までに直営包括施設（保育園・社会福祉士）名を受け持つ。平成22年より町内医師にサポート（医師・看護師）を直営し初年度中支障チームを設立。認知症医療センターが開設され、令和元年度実績2件。令和元年度実績2件。	・チーム員研修は元年度までに直営包括施設（保育園・社会福祉士）名を受け持つ。平成22年より町内医師にサポート（医師・看護師）を直営し初年度中支障チームを設立。認知症医療センターが開設され、令和元年度実績2件。令和元年度実績2件。
・チーム員研修は元年度までに直営包括施設（保育園・社会福祉士）名を受け持つ。平成22年より町内医師にサポート（医師・看護師）を直営し初年度中支障チームを設立。認知症医療センターが開設され、令和元年度実績2件。令和元年度実績2件。	・チーム員研修は元年度までに直営包括施設（保育園・社会福祉士）名を受け持つ。平成22年より町内医師にサポート（医師・看護師）を直営し初年度中支障チームを設立。認知症医療センターが開設され、令和元年度実績2件。令和元年度実績2件。	・チーム員研修は元年度までに直営包括施設（保育園・社会福祉士）名を受け持つ。平成22年より町内医師にサポート（医師・看護師）を直営し初年度中支障チームを設立。認知症医療センターが開設され、令和元年度実績2件。令和元年度実績2件。

<様式1> 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績とR2年度計画)
～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び認知症施策の推進について～

市町(山北町) 担当課(保健健康課)		R2年度計画
R元年度計画	R元年度実績	
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況

<様式1> 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績とR2年度計画)
～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

市町(開成町) 担当課(保健健康課)		R2年度計画
R元年度計画	R元年度実績	R2年度計画
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
新規開業、開院等の事業所の確認をして取扱上に訂正する。	新規開業、開院等の事業所の確認をして取扱上に訂正する。	新規開業、開院等の事業所の確認をして取扱上に訂正する。
イ 在宅医療・介護連携の採用の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の採用の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の採用の抽出と対応策の検討
小田原保健福祉事務所足柄上セントーも交えて市町担当者会議6回 1市町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上セントーも交えて市町担当者会議6回 1市町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上セントーも交えて市町担当者会議6回 1市町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加
ウ 切れ目がない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目がない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目がない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
県立足柄上病院地域連携会12回 訪問看護事業所・小規模多機能型居宅介護、グループホーム5回 テーションなど業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携会12回 訪問看護事業所・小規模多機能型居宅介護、グループホーム5回 入所施設3回、訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携会12回 訪問看護事業所・小規模多機能型居宅介護、グループホーム5回 入所施設3回、訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしがらケアマネジャー連絡会員会3回、懇親会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け専門センター (株) ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連絡会員会3回、懇親会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け専門センター (株) ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連絡会への支援 OHA研究会・小規模多機能型居宅介護、グループホーム5回 ホームページの活用
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。10件	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。10件	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステム～これからどうする～辻哲夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 株式会社ホスピタリティ 株式会社法律士氏	7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステム～これからどうする～辻哲夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 株式会社ホスピタリティ 株式会社法律士氏	年2回程度 地元会を入れて窓の見える場でできるグループワークやワールドカフェなど ディスカッションができます
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
11月4日食べられないなつたらどうしますか 会田薰子氏 2月8日「上野千鶴子さんがあらへひとりで死ねますか 上野千鶴子氏	11月4日食べられないなつたらどうしますか 会田薰子氏 2月8日「上野千鶴子さんがあらへひとりで死ねますか 上野千鶴子氏	年2回程度予定 映画上映と監督講演「ほけますからよろしくお願ひいたします」
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携
1市5町の担当者会議の開催 県西地区的会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 県西地区的会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 県西地区的会議に出席
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
認知症サポートステップ講座修了者のボランティアによる、認知症カフェへの協力(年6回)、認知症サポート養成講座における寸劇の実施、町認知症施設についての意見交換	認知症サポートステップ講座修了者のボランティアによる、認知症カフェへの協力(年6回)、認知症サポート養成講座における寸劇の実施、町認知症施設についての意見交換	R1年度に引き続き、町認知症施設へ協力 認知症カフェへの賛同時明けと増回(月1回)→ 認知症ケアバース更新への協力
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
体操指導員へのコグニサイズ研修 体操指導員へのコグニサイズ研修	体操指導員へのコグニサイズ研修 体操指導員へのコグニサイズ研修	町内サロンへ保健師が出向いてコグニサイズ実施 町内サロンへ保健師が出向いてコグニサイズ実施
体操指導員へのコグニサイズ研修 町内サロンへ保健師が出向いてコグニサイズ実施	体操指導員へのコグニサイズ研修 町内サロンへ保健師が出向いてコグニサイズ実施	③その他

「県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組（R1年年度実績とR2年度計画）」

R元年度計画	R元年度実績	R2年度計画
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
・地域包括支援センターが介護サービス事業所の紹介用の共通フォーマットを作成し、利用者が比較検討しやすいうようにした。	・既存の社会資源や介護サービス事業所ガイドブックの更新に努める。	・既存の社会資源や介護サービス事業所ガイドブックの更新に努める。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
・地域医療・介護の関係団体が参画する会議として、医師、歯科医師、薬剤師、介護事務等の代表者が出席する地域ケア会議を活用し、在宅医療・介護連携にかかる課題の抽出を行っている。地域ケア会議は、年間5回開催し、地域ケア全体会議を年度毎に1回開催する。 また、そこで得た課題については、「生活支援・介護予防体制整備推進協議会」の場で対応策を検討する。	・地域ケア会議 5回/年 ・地域ケア全体会議 1回/年 ・生活支援・介護予防体制整備推進協議会 3回/年 (ゴミ出し支援の対象者の拡大と買い物支援について検討)	・元年度と同様の取り組みを継続する。
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
・3病会、行政（市町三町）及びケアネットO-HMYをメンバーとしてFAXで情報共有ツールを作成する会のためのツールとしてFAXで情報共有（書式）を作成する。	・情報連携シート（案）ができたら、10月から12月まで段階的にによる試行実施した。 ・令和2年2月から3月にかけ、3箇会及び居宅介護支援事業者等のケアマネジャーを対象に使用にあたっての課題等があれば、検討していくもの。	・令和2年4月から情報連携シートの使用開始。利用の推進を図ることもに、使用にあたっての課題等があれば、検討していくもの。
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
・町内の在宅医療・介護連携の相談窓口は、町保健師が担当するとともに、小田原医師会と連携して地域医療連携室において在宅医療に関する相談を受けていたところを、小田原医師会との相談窓口の並びとなる。	・町保健師担当の相談窓口の開設（常時） ・小田原医師会地域医療連携室での相談窓口の開設（常時）	・元年度と同様の取り組みを継続する。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
・小田原医師会及び1市3町で「多職種連携共同研修」を年3回実施する。 テロマ「その人なりの自立支援を目指すカウンタレンス」とは」	・多職種共同研修を実施 3回/年	・元年度と同様の取り組みを継続する。
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
・地域包括支援センターを通じて、社会資源・ネットワーク一覧をネットに掲載し、在宅医療に関するようになる。 ・介護や在宅医療に關する正しい知識の普及のため、家族介護教室等を開催する。	・社会資源・ネットワーク一覧を、社会福祉協議会のホームページの地域包括支援センターに掲載。(10月～) ・家族介護教室の開催 6回/年	・元年度と同様の取り組みを継続する。令和2年度は、在宅医療・介護連携推進のための講演会を1回開催予定。
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
・県東西地区地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会、県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議などを通じて連携を図る。	・県東西地区地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会、県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議などを通じて連携を図った。	・元年度と同様の取り組みを継続する。
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
・認知症サポーターセンターを中学生を対象にして実施し、若い世代にも地域の見守り支援に参加してもらう。	・令和2年2月25日（火）に開催 箱根中学校 3年生全員	・元年度と同様の取り組みを継続する。
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
・「脳と体の若返り教室」を1コース開催する。（12回を1コース）	・「脳と体の若返り教室」を1コース開催。会場：二ノ平自治会館	・元年度と同様の取り組みを継続する。
③その他	③その他	③その他
初期集中支援チーム員会議を小田原市・真鶴町・湯河原町・箱根町の一市三町の共同開催で実施する。（年6回）	初期集中支援チーム員会議を小田原市・真鶴町・湯河原町・箱根町の一市三町の共同開催で実施する。（年6回）	・元年度と同様の取り組みを継続する。

様式1> 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績とR2年度計画)
～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

R元年度計画		R元年度実績	市町(真鶴町) 担当課(健康福祉課)	R2年度計画	
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進		在宅医療・介護連携の推進		
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握		ア 地域の医療・介護サービス資源の把握		
・町直管の包括が中心になり町内や近隣の医療・介護サービスを把握し、リスト作成し、左記のとおり	・町内や近隣の医療・介護サービスの見直しを行い、リストの更新を行いたい。		・町内や近隣の医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討		
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討		イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討		
・地域ケア会議では医療機関や介護施設だけでなく、消防や警務、民生委員や自治会長などとの参加があり、グループワーク等を通して町の現状や課題等について検討している。	・左記のとおり		・現行の各種会議を利用して、町の現状や課題等について検討を継続する。		
ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進		ウ 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進		
・町の医療機関が限られているため、広域での取り組みが必要。往診に関する限りは、医療機関に相談し状況に応じて個別に対応している。	・左記のとおり		・町の医療機関が限られているため、広域での取り組みが必要。往診に関する限りは、医療機関に相談し状況に応じて個別に対応して頂いている。		
エ 医療・介護連携者の情報共有の支援	エ 医療・介護連携者の情報共有の支援		エ 医療・介護連携者の情報共有の支援		
・独自のフェイスシート等を用いたがら、電話や直接会って情報を伝え共有することが多く、今までその流れで大きな問題もなく、行えてきた。平成30年度から在宅医療・介護連携シールを作成検討会を立ち上げた。話しあいを重ねて共通シールを作成していく。	・左記のとおり		・3師会、ケアネットOHMY及び市3町共同で作成した、「在宅医療・介護連携シール」の運用協力と支援を行う。		
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援		オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援		
・平成28年度から小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療に関する相談窓口」を設置し1市3町の医療機関に関する相談や往診・訪問診療に関する情報提供等をお願いしている。一般市民の相談に際しては、包括が中心になります。	・左記のとおり		・平成28年度から小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療に関する相談窓口」を設置し1市3町の医療機関に附する相談や往診・訪問診療に関する情報提供等をお願いしている。		
カ 医療・介護連携者の研修	カ 医療・介護連携者の研修		カ 医療・介護連携の研修		
・平成27年度から小田原管内(1市3町合併)の多職種共同研修会を実施している。町では「地銀ケア会議」や「地域と医療を考える会」において在宅医療・介護サービスにおけるチラシ等の会や県の見える関係づくりに努めている。	・多職種共同研修年3回実施予定(7月、10月、12月)		・多職種共同研修年3回実施予定(7月、10月、12月)		
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携		ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携		
・広報の活用や町の事業や町のイベントにおいて在宅医療・介護サービスにおけるチラシ等を配布し周知していく。	・左記のとおり		・小田原管内(1市3町)においては他市町の現状や取り組み等、情報交換を行い、共同で実施できる部分に関しては連携を図りながら進めている。広域(2市8町)においては、保健福祉事務所が実施している会議に参加し、取り組み状況や現状把握に努めている。		
認知症施策の推進	認知症施策の推進		認知症施策の推進		
①生民活動の状況	①生民活動の状況		①生民活動の状況		
・認知症サポーター養成講座=毎年恒例となる、令和元年版は真鶴中学校3年生46名を対象に2/25に開催予定。平成29年度から認知症等による普及活動	・敬老会及びひがんティア養成講座において認知症ケアバス配布		・認知症サボーラー養成講座 真鶴中学校3年生及び一般町民へ実施		
・認知症の介護者を支援することを目的に月1回教室を開催	・ゆかわら・まなづる家族会を開催		・ゆかわら・まなづる家族会を開催		
②介護予防の取組	②介護予防の取組		②介護予防の取組		
・運動や音楽などを組み合わせたプログラム(コグニティア等)を実施や栄養改善教室を開催	・運動(年9回)、栄養(年3回)実施		・運動や音楽などを組み合わせたプログラム(コグニティア等)を実施や栄養改善教室実施		
・認知症予防予定	・通所介護事業所2か所、地域サロン2か所で出張型口腔機能教室実施		・通所介護事業所2か所、地域サロン2か所で出張型口腔機能教室実施		
③その他	③その他		③その他		
				・住民主体で高齢者の見守りや介護予防を目的に町内4か所の地域サロンを実施。 ・まなづる協力隊「まなづボ」(有償ボランティア)を実施。各会場20名前後の参加者。運動指導士や作業療法士等による介護予防運動も実施。 ・運動や音楽等による協力隊による介護予防運動も実施。人員確保が課題のため、今年度は会員数を増やすことを目的にボランティア養成講座を検討	

＜様式1＞ 岐西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績とR2年度計画)
～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

R元年度計画		R元年度実績	R2年度計画
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
既存の「医療・介護のサービスガイド」の令和元年度改訂版を作成する。	既存の「医療・介護のサービスガイド」を医療機関・事業所の情報変更や介護報酬改定等を踏まえ、年内に改訂版を実行予定。	既存の「医療・介護のサービスガイド」を医療機関・事業所の情報変更や介護報酬改定等を踏まえ、年内に改訂版を実行予定。	既存の「医療・介護のサービスガイド」を医療機関・事業所の情報変更や介護報酬改定等を踏まえ、年内に改訂版を実行予定。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
湯河原町在宅医療・介護連携会議及び地元ケア会議を開催して、地域課題の抽出等について検討する。	町と三師会、病院関係者、ケアマネジャー、介護専業職員、施設関係者等で構成する湯河原町在宅医療・介護連携会議を開催し、課題の抽出、課題に対する地域ケア会議を開催して、地域課題の抽出等が出席する地域ケア会議を開催している。	町と三師会、病院関係者、ケアマネジャー、介護専業職員、施設関係者等で構成する湯河原町在宅医療・介護連携会議を開催し、課題の抽出、課題に対する地域ケア会議を開催して、地域課題の抽出等が出席する地域ケア会議を開催している。	町と三師会、病院関係者、ケアマネジャー、介護専業職員、施設関係者等で構成する湯河原町在宅医療・介護連携会議を開催し、課題の抽出、課題に対する地域ケア会議を開催して、地域課題の抽出等が出席する地域ケア会議を開催している。
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の連携推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の連携推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の連携推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の連携推進
医療の入口のソーシャルワーカーと町で定期的に打ち合わせを実施する。	医療の入口のソーシャルワーカーと町で定期的に打ち合わせを行っている。令和元年1月に熱海・湯河原MSW・CM・湯河原町地域包括支援センター職員の交流会を開催した。	医療の入口のソーシャルワーカーと町で定期的に打ち合わせを行っている。令和元年1月に熱海・湯河原MSW・CM・湯河原町地域包括支援センター職員の交流会を開催した。	医療の入口のソーシャルワーカーと町で定期的に打ち合わせを行っている。令和元年1月に熱海・湯河原MSW・CM・湯河原町地域包括支援センター職員の交流会を開催した。
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
医療の入り口のソーシャルワーカーと町で定期的に打ち合わせを実施する。	医療の入り口のソーシャルワーカーと町で定期的に打ち合わせを行っている。	医療の入り口のソーシャルワーカーと町で定期的に打ち合わせを行っている。	医療の入り口のソーシャルワーカーと町で定期的に打ち合わせを行っている。
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
ケアマネと訪問介護が情報共有するためのシートを作成。	ケアマネと訪問介護が情報共有するためのシートを作成。	ケアマネと訪問介護が情報共有するためのシートを作成。	ケアマネと訪問介護が情報共有するためのシートを作成。
カ 医療・介護連携に関する相談支援	カ 医療・介護連携に関する相談支援	カ 医療・介護連携に関する相談支援	カ 医療・介護連携に関する相談支援
平成28年度から小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療に関する相談窓口」を設置し、介護事業所等からの相談に対応をお願いしている。隔月で地域包括支援センターの保健師等が地域会館を回り、地域住民の相談に応じる。	平成28年度から小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療に関する相談窓口」を設置し、介護事業所等からの相談に対応をお願いしている。隔月で地域包括支援センターの保健師等が地域会館を回り、地域住民の相談に応じている。	平成28年度から小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療に関する相談窓口」を設置し、介護事業所等からの相談に対応をお願いしている。隔月で地域包括支援センターの保健師等が地域会館を回り、地域住民の相談に応じている。	平成28年度から小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療に関する相談窓口」を設置し、介護事業所等からの相談に対応をお願いしている。隔月で地域包括支援センターの保健師等が地域会館を回り、地域住民の相談に応じている。
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
令和元年度第2回医療・介護公開講座を開催する。	令和元年度第2回医療・介護公開講座を開催する。	令和元年度第2回医療・介護公開講座を開催する。	令和元年度第2回医療・介護公開講座を開催する。
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携
小田原管内（1市3町）においては、必要時に情報交換を行う。広域（2市8町）においては、小田原保健福祉事務所が実施する会議に参加し、取組状況や現状把握に努めている。	小田原管内（1市3町）においては、必要時に情報交換を行っている。広域（2市8町）においては、小田原保健福祉事務所が実施している会議に参加し、取組状況や現状把握に努めている。	小田原管内（1市3町）においては、必要時に情報交換を行っている。広域（2市8町）においては、小田原保健福祉事務所が実施している会議に参加し、取組状況や現状把握に努めている。	小田原管内（1市3町）においては、必要時に情報交換を行っている。広域（2市8町）においては、小田原保健福祉事務所が実施している会議に参加し、取組状況や現状把握に努めている。
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
ハーモニカフェ（認知症カフェ）を月1回開催する。	ハーモニカフェ（認知症カフェ）を月1回開催している。	ハーモニカフェ（認知症カフェ）を月1回開催している。	ハーモニカフェ（認知症カフェ）を月1回開催している。
介護予防サポーター養成、頭の体操教室を実施する。	介護予防サポーター養成、頭の体操教室を毎年実施している。	介護予防サポーター養成、頭の体操教室を毎年実施している。	介護予防サポーター養成、頭の体操教室を毎年実施している。
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
③その他	③その他	③その他	③その他
認知症が一テーマ構成講座を、住民と接する機会の多い企業等や学校3年生を対象に実施する。校3年生を対象に実施している。「ゆがわら・まななる家族会」を年6回実施している。認知症ケアバス・認知症チェックリストを一本化した形で今年度、作成予定。	認知症が一テーマ構成講座を、住民と接する機会の多い企業等や学校3年生を対象に実施する。校3年生を対象に実施している。「ゆがわら・まななる家族会」を年6回実施している。認知症ケアバス・認知症チェックリストを一本化した形で今年度、作成予定。	認知症が一テーマ構成講座を、住民と接する機会の多い企業等や学校3年生を対象に実施する。校3年生を対象に実施している。「ゆがわら・まななる家族会」を年6回実施している。認知症ケアバス・認知症チェックリストを一本化した形で今年度、作成予定。	認知症が一テーマ構成講座を、住民と接する機会の多い企業等や学校3年生を対象に実施する。校3年生を対象に実施している。「ゆがわら・まななる家族会」を年6回実施している。認知症ケアバス・認知症チェックリストを一本化した形で今年度、作成予定。